

宮原自治会の皆さんとの意見交換の場

1、開催概要

日 時：平成 30 年 9 月 29 日（土）18 時 30 分～

場 所：宮原自治会館

出席者：宮原自治会 10 名、議長、議会広聴委員会 5 名

あいさつ：石渡宮原自治会長、岸議長

資 料：中井町議会の組織及び構成

2、意見交換（テーマ設定なし）

【防災無線のデジタル化について】

（質問） ・ 防災無線のアナログからデジタルへの移行について、多額の費用が掛かるのにどのようなメリットがあるのか。

（回答） ・ 法律で平成 32 年までにアナログからデジタルに変更しなければならない。

（質問） ・ アナログで聞こえているのに変更する意味があるのか。

（回答） ・ 電波の使用増加により電波法が変更され、テレビと同様に周波数の使う範囲を再度調整せざるを得なくなったためのもの。防災無線はアナログでは使えなくなる。

・ 総務省の話では、デジタルのほうが聞こえやすくなる。

・ 個別受信機以外で 3 億円と説明があり、個別受信機はアンテナを含めると 6 万円にもなってしまい、総額で 5 億円位になる。総務省からも、もっと安くするように働きかけがされているので、1, 2 年の内にはもう少し安くなると思われ、結果、総額で 4 億円を少し超えた額になるだろう。

議会では計画書の提出を求め、個別受信機は、有料にせず無償貸与の働きかけをしてきた。今後も調整を続けていく。

【生活交通等について】

（質問） ・ 社協の生活支援アンケートで、車を使わないでとあるが、どうしてか。

例えば、高齢者の買い物を助けるのに、車を使うのは当然ではないか。

（回答） ・ これは有償ボランティアの件ですので、確認をします。

⇒ 社会福祉協議会からの回答「『車の保険が個人対応になる。白タクになり道路運送法に違反する。』ことから、福祉有償運送サービスを利用してほしい。」

・ 車を使って報酬を頂くと営業になってしまうからなのではないか。町のオンデマンドバスを使っていただくのがよいのではないか。

(質問) ・オンデマンドバスは、病院にすら行くことができないので、問題がある。
・企業はバスで駅まで行っているのに、おかしい。

(回答) ・法定公共交通会議で、料金を含めすべて決められている。オンデマンドバスが駅に行けるようになると、路線バスが縮小、撤退してしまう可能性があり、より不便になってしまう。
・病院に行くには福祉有償サービスを使ってもらおうとよい。
・福祉有償運送サービスの利用範囲をもっと広げることができれば、便利になるのではないか。

(質問) ・最近、自転車の事故が問題になっているが、保険などの義務付けや交通指導などが必要なのでは。

(回答) ・年に1度、子供たちを対象に警察による自転車の安全な乗り方指導がある。
・神奈川県が、条例により保険を義務化する動きがあるようだ。
・学校からも指導の必要があるので、教育長にも伝える。
⇒ 教育長から「保険・安全運転の指導について」学校へ伝えることのできる解を得た。

(質問) ・車で県道に出る際、街路樹が邪魔になり全く見えなくて危険な箇所がある。

(回答) ・自治会内の要望事項については、県に要請するにも、町が対処するにも、自治会長を通じて町に申し入れし、議会が後押しをする形が望ましい。

【空き家対策について】

(質問) ・空き家対策は。

(回答) ・町で空き家バンクを設け対応をしているが、古い建物ではなかなか契約が成立しないようだ。
・農業の新規参入者の方たちが、空き家を利用しているケースが多い。

【災害対応について】

(質問) ・ハザードマップを見ると、主に西側の地域で、災害時に土石流や土砂災害の危険のある地域が多くみられる。ハザードマップをバージョンアップして、危険地域の個々の生活にまで踏み込んだ指導が必要なのでは。

・トンネルや切通はがけ崩れで通れなくなる可能性があるが、災害時に役場が対応のため動くことができなくなるのでは。町が東西に分断される可能性もある。

・町外に住む役場職員が災害時に集まることができるのか。シュミレーション

されていないのではないかと。

- ・何を住民にさせるかを、掘り下げてみないと、いざとなつてからでは遅いのではないかと、防災とはそこまでやる必要があるのではないかと。

- (回答)
- ・議会でも、災害対策条例も作り行動マニュアルも作ったが、執行とのすり合わせができていないのが事実だ。まず、隣近所の付き合いが大切だ。
 - ・ハザードマップで自分たちが何をすべきか、個人レベルで行動すべきことを意識していたことが、豪雨災害の際、助かることにつながったという事実がある。個々に合わせた、ハザードマップの進化形というものを町も模索する必要がある。

【環境衛生について】

- (質問)
- ・以前から、生の牛糞を畑にまいてはいけないとの指導がされていた。現在その匂いに悩まされている。

- (回答)
- ・畑に生の牛糞を撒いたら、すぐに耕すことが条件である。
 - ・古怒田では、話し合いの上、生の牛糞を使うのは冬の間だけで、それ以外は乾燥したのものを使うよう取り決めをした。

- (質問)
- ・ごみの放置が頻繁にある。主に夜ごみを捨てていく。警察を呼んだこともある。監視カメラを設置できないか。

- ・ごみ収集場に、町のごみ袋でなく、適当な袋に入れたごみが捨てられている。町外の人と思うが何とかならないか。

- (回答)
- ・山のほうには監視カメラをつけているので、抑止力につながっている。

【あかりの祭典について】

- (質問)
- ・あかりの祭典が盛り上がっている中、もう少しストーリー性のある演出をプロデュースしてもらい、湿生公園の幻想的な雰囲気、物語性のあるあかりの祭典ができれば、全国的にも中井にはこんな素晴らしいものがあるとPRできるのでは。・・要望です

- (回答)
- ・上から見るスペースがあればよいのではないかとある先生から言われた。

【外国人対応について】

- (質問)
- ・町にも外国人が増え、ゴミ出しの問題で業者任せにしているが、町として何か対策はあるのか。

- (回答)
- ・問題があったら、町に言っていただき、町から業者にお願いをする形をとっていただきたい。
 - ・ごみの出し方も、外国語でのパンフレットを作っている。